



日本共産党 北区議会議員

No.56 2024.3 月号

# せいの恵子区政レポート

日本共産党北区議員団

〒114-8508

王子本町 1-15-22

<http://keiko-seino.com>  [mail@keiko-seino.com](mailto:mail@keiko-seino.com)

ご相談は  
お気軽に

070-3531-0812

## 暮らし応援の予算に

### 2月26日より北区議会第1回定例会 新年度予算案を審議



(撮影場所：赤水門・青水門)

東京都北区

令和6年度予算案主な事業 (2024年度)

「みんなで創る。北区新時代」の夢を置き、  
北区をさらに前へ進めるための積極的予算

令和6年2月



北区は持続可能な開発目標 (SDG) を実践しています。



※新年度予算案の主な事業(プレス資料)は、北区ホームページでご覧いただけます。



新規事業ではかねてより共産党区議員団が求めてきた補聴器購入費補助が実現するほか、2025年度からの開始をめざす北区独自の給付型奨学金制度の導入検討、能登半島地震の教訓を活かす避

### 実現する切実な 区民要望

2月26日より3月27日まで、北区議会第1回定例会が開かれていきます。北区は4月から執行する新年度予算案を議会に提出、予算特別委員会での審議に付されます。

また、2か年にわたって議論を重ねてきた子どもへの権利を守る条例は、「東京都北区子ども権利と幸せに関する条例」として議案提出。区役所での手続きを原則オンラインとする「北区デジタル推進条例」も新設条例として提出されます。

### 子どもの権利を 守る条例を制定

難所環境のさらなる充実、活気をもたらしす商店街支援などが盛り込まれました(裏面参照)。

## 北区議会第1回定例会で

### 日本共産党北区議員団を代表して質問を行いました



#### 納税者の半分程度、中小業者に直接届く物価高騰対策給付金を

私は大きく6点、1.新年度予算編成の考え方について、2.能登半島地震の教訓から防災を考える、3.命と暮らしを守る区政に、4.人間を大切にする働き方へ、5.包括的性教育と「性と生殖に関する健康と権利」の拡充について、6.まちづくりの課題について質問。

日本共産党は、今年度の予算組み替え提案で、課税標準額200万円以下の区民に3万円を給付する物価高騰対策臨時給付金を提案。こうした層への支援がまだまだ不十分であることから、中小業者への直接支援とあわせ、新年度での実施を求めました。



# 新年度予算案の主な事業

北区の2024年度予算案に計上された主な新規事業を紹介します。



## 高齢者の補聴器購入費補助

851万6000円

聴力機能の低下によりコミュニケーションが取りにくい住民税非課税（均等割のみ課税含む）の高齢者に、7万円を上限に補聴器購入費用を助成。



## 友好都市と連携した環境政策

896万1000円

友好都市等と連携して、宿泊を伴う環境学習事業の実施、区役所が排出する二酸化炭素の、森林環境譲与税を活用したオフセットなどに取り組む。



## 平和都市宣言記念事業

953万1000円

北区名誉区民・故北村西望氏制作による「平和の女神像」創建50周年行事の開催、戦後80年誌の2025年度発行に向けた準備・検討を進める。



## 子どもの権利普及啓発

1142万6000円

この4月1日に施行予定の「北区子どもの権利と幸せに関する条例」の内容について、出前講座や動画の作成、パンフレット作成などを行う。



## 活気もたらす商店街支援

1億741万3000円

北区商店街連合会が検討を進める区内共通商品券デジタル化等の支援や、商店街コーディネーターによる伴走支援により、商店街活性化を創出する。



## 避難所環境のさらなる充実

6114万2000円

避難所における衛生面等の課題を踏まえ、簡易トイレ袋の備蓄を増量するとともに、避難者の通信環境を確保するための蓄電池を新たに導入する。



## 日本語教室への運営費補助

51万円

地域で外国人などに対し、日本語を教えているボランティア教室の運営団体に、1団体あたり上限10万円の運営費を助成する。



## 遺族サポートデスクの設置

2279万2000円

遺族が行う受付、申請書作成の補助、関係する課への案内など、およそ60種類の事務手続きについて、庁内の窓口で遺族に寄り添った支援を行う。

